

科目名	演劇史2								年度	2024
英語科目名	History of Drama and Theatre								学期	後期
学科・学年	演劇スタッフ科	1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山下 悟			教員の実務経験		有	実務経験の職種		演出家	
【科目の目的】 演劇がどのように成り立ち、現代にまで導かれているかを考察し、演劇の歴史の流れを学ぶ 演劇の歴史を理解することにより、より視野を広げ、より深く演劇の業界に携わることができることを 目的とする										
【科目の概要】 世界の演劇史を学ぶ										
【到達目標】 世界の演劇史を学ぶことを通して、更に演劇に対する視野を広げる。 海外の作品についての理解も深める。										
【授業の注意点】										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	ギリシャ演劇 について 理解でき、大変 興味を持つことが できた				ギリシャ演劇 について 理解できた				ギリシャ演劇 について 理解できていない	
到達目標 B	ローマの演劇と キリスト教の 関係について 興味を持ち 理解できた				ローマの演劇と キリスト教の 関係について 興味を持った				ローマの演劇と キリスト教の 関係について 理解不足である	
到達目標 C	1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を覚えた 作品も知っている				1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を覚えた				1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を 復習しなければ わからない	
到達目標 D	1800年代の 代表的な 劇作家と作品名を 覚えた				1800年代の 代表的な 劇作家を 覚えた				1800年代の 代表的な 劇作家は 覚えていない	
到達目標 E	世界の演劇を 学び、知識が 深まり、自分でも 勉強する 意欲がわいた				世界の演劇を 学び、知識が 深まった				世界の演劇に ついての理解が 不足している	
【教科書】 資料を配布する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 授業態度 レポート課題										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

備考等